

## 専門職向け研修会の開催報告



小路先生の講演のご様子です。

参加者からは、チャット機能を通じて、先生のお話が分かりやすかったというコメントを多く寄せられ、研修会最後も参加者の方々に多くの拍手を頂きました。



小路先生と ZOOM 参加者とのチャット機能を用いての質疑応答の様子です。

令和2年9月5日土曜日、午後2時～午後4時10分まで、飯塚記念病院 福岡県認知症医療センター主催の今年度第1回目、専門職向けの認知症研修会を ZOOM を用いてのオンライン形式で開催させて頂きました。研修会には、総合病院、精神科病院の看護師、介護職員、地域包括支援センター職員、ケアマネージャー、精神保健福祉士など当日は44名【講師、院内スタッフ3名含む】の方々に参加して頂きました。

講演では、「認知症高齢者の看取りについて ～アセスメントの重要性と治療・ケアのポイント～」という演題で、久留米大学 高次脳機能研究所 教授 小路 純央先生にお話ししていただきました。

小路先生は140枚近くのスライドを1時間40分近くにならわったの講演、講演ではわが国の現状、認知症の定義、看取り、意思決定支援など様々なトピックスについて取り上げて頂きました。

私は先生の講演を聞かせて頂き、コミュニケーションとアセスメントがポイントであると感じました。

その後、チャット機能を用いての2つの質問にご回答いただき、本当にありがとうございました。

しかし、本来でしたら、今回事前に研修会にお申込みを頂いた方々も含めて、97名の方々に本研修会の希望を頂いていました。ただし、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点を考慮し、オンライン研修会の開催の運びとさせて頂いた次第でした。講師のご了解の下、今回お申込みいただきました全ての方々に研修会での講演用資料を郵送にてお送りさせて頂きますので、今しばらくお待ちくださいませ。

今年度は、残り2回、一般市民向け啓発、専門職向け研修会の開催を2回計画しています。

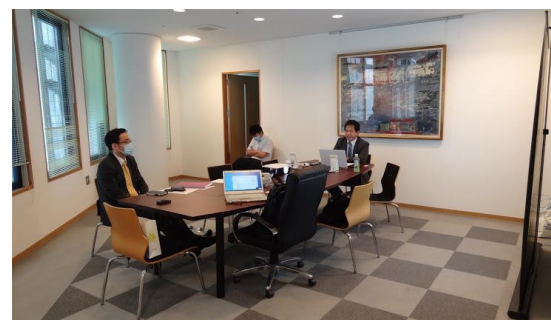
その中で一般市民向けの方々に、2021年3月27日土曜日 午後1時～3時半まで、認知症キャラバンメイトの宮本みさ子様より、『認知症サポーター養成講座の出会い～母親の介護への後悔、残された私が今出来る事、感じる事～』という演題での講演、認知症の人と家族の会いづか、心の音の会（嘉麻市認知症家族会）、認知症の人と家族の会直方の方々からの『筑豊地区家族会の紹介』、

専門職向けの方々に、2021年2月6日土曜日 午後2時～4時まで、

『認知症になっても、安心して暮らせるまちづくりって何？』という演題で、講師は医療法人静光園 白川病院（大牟田市）医療連携室長 猿渡 進平様、そして、元テナントミックスサポートマネージャー 木藤 亮太様です。木藤様は“猫さえ歩かない”と言われた宮崎県・油津商店街の再生事業を手がけ、商店街再生のカリスマと呼ばれています。

場所はのがみプレジデントホテルの予定ですが、ZOOMによるオンライン研修会も模索しています。

今後共、皆様方のご支援、ご協力の程、宜しくお願い致します。



当院での講演の様子です。このような形で皆様方に研修会の様子を配信させて頂きました。